



学校教育目標 社会に貢献しながら、  
自立する生徒の育成  
～気づき、考え、実行する～

# やまゆり

校訓 「和の心」

指導重点

- ① 居心地がよく、やる気のある  
学級集団・学校づくり
- ② 確かな学力の育成
- ③ 健やかな身体の育成
- ④ 豊かな心の育成
- ⑤ 生徒の良さを伸ばし、課題を  
解決するための「連携・協働」を推進する

## 2学期のまとめ

早いもので、2学期も残すところ1週間となりました。生徒たちは、様々な行事や日々の学習を通して、大きく成長できたと感じています。これまでの学習や生活を振り返り、令和7(2025)年に向けた「目標」を設定する時期です。

さて、20日(金)と23日(月)の2日間(14:45-16:45)、三者懇談(教育相談)があります。今学期を振り返り、頑張ったことや課題点を確認して、今後に向けた取組やその対応について話題にしてください。子供たちにとって、保護者の皆さんの一寸した声かけや励ましが、大きな力になります。一人ひとりの良さを確認できる場にしたいと考えています。ご家庭での様子を保護者の皆さまから学年職員に伝えてください。この場を大切な機会ととらえて、子供たちの望ましい発達(成長)を期待しながら、心のつながる懇談にしていきたいと思います。

## 第2回生徒総会

17日(火)、生徒総会を行いました。今回は、今年度の生徒会活動の振り返りでした。生徒会役員の皆さん、お疲れ様でした。また、新年度の生徒会役員の認証も行いました。これからも道志中の良き伝統を守りながら、さらに発展させる活動を展開してくれることでしょう。今後の活躍が楽しみです。

ところで、生徒会活動は、学級活動や学校行事とともに、学校で行う教育活動では、特別活動の1つに位置付けられています。この生徒会活動の充実している学校は、学校全体に活気があります。学習指導要領では、次のように「生徒会活動の目標」を規定しています。

生徒会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。

生徒会活動は、学校における自分たちの生活の充実・発展や学校生活の改善・向上を目指すために、生徒の立場から自発的、自治的に行われる活動です。学校生活上の諸問題から課題を見だし、生徒一人一人が、生徒会の一員であることを自覚し、「自分のこと」として、その解決に向けて、活動計画を立て、それぞれが役割を分担し、連携・協働して、集団活動を進めていきます。



いま私たちが生きている社会は、様々な考え方や願いが複雑に絡み合

う社会です。生徒会活動を通して、このような資質・能力を涵養することは、とても大切なことだと考えます。先生方も応援しています。

## 学力向上のためのキーワード

これまで「学校だより」の中で、私の考える学力を向上させるための4つのキーワードについて紹介してきました。その4つとは“素直・マメ・集中力・持続力”でした。

今回は、2つ目の“マメ”についてです。これは、まじめ・こまめのこと、誠実と同義語です。マメな人とは、1つのことに継続して取り組む人のことであり、努力を惜しまず、根気強く取り組むことのできる人です。自分自身を、自分で調整する能力に優れており、計画的に物事を進めことができます。生活(人生)を豊かにできる人です。(次号に続く)

## 大当たりに感謝！ 高圧洗浄機

本校では、公益財団法人日本教育公務員弘済会主催の「学校応援キャンペーン」に応募したところ、見事「学校賞」に当選(高圧洗浄機)



しました。校内の環境美化のために活用させていただきます。ありがとうございました。